

科名 血液内科
 対象疾患名 Ph陰性 B-ALL
 プロトコール名 JALSG Ph(-) B-ALL213 C3

Rp 形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
1	CV 側管	グラニセトロンパック	1mg	30分かけて	↓							↓															
2	CV 側管	オンコビン 生理食塩液	1.3mg/m ² 100mL	30分かけて 壊死性抗がん剤 フィルター使用不可	↓							↓															
3	CV 側管	ダウマイシン 生理食塩液	45mg/m ² 100mL	1時間かけて 壊死性抗がん剤	↓							↓															
	CV 側管	ロイナセ [®] 5%ブドウ糖液	5000KU/m ² 500mL	4時間かけて		↓		↓		↓			↓		↓		↓										
4	内服	テキサメタゾン	8.25mg/m ²		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓								↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
8	髄注				↓																						

Rp 形態	ルート	薬剤名	投与量	時間・コメント	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42			
1	CV 側管	グラニセトロンパック	1mg	30分かけて								↓															
5	CV 側管	キロサイト [®] 5%ブドウ糖液	75mg/m ² 250mL	1時間かけて								↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓	↓			
6	CV 側管	イントキサン 生理食塩液	1200mg/m ² 500mL	3時間かけて								↓															
7	経口	ロイケリン散	60mg/m ²	1日1回 眠前								↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
8	髄注											↓															

～MEMO～

- ・催吐リスク3(30%以上90%未満)
- ・day1,29に「MTX 15mg/body+キロサイト[®] 40mg/body+テキサト注 3.3mg/body」(血内179)を髄注する。
- 〈オンコビン〉
 - ・最大投与量2mg
- 〈ダウルビシン〉
 - ・60歳以上では、30mg/m²に減量する。
- 〈ロイナセ[®]〉
 - ・筋注でも可。その際は、2mLの注射用水、または5%ブドウ糖液で溶解し使用する。
 - ・60歳以上65歳未満の患者へ投与する場合は、3000KU/m²へ減量する。
- 〈イントキサン〉
 - ・60歳以上では、800mg/m²に減量する。
- 〈ロイケリン散〉
 - ・60mg/m²を day29-42 に内服。